

科目番号	56	科目名	里山学	
英文科目名	SATOYAMA Studies: The sustainable interaction of nature and humans in landscape			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連絡先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担当教員	宮浦 富保 (全11名) (先端理工 学部 教授)			
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教室名		会場		
授業期間	2024 年 4 月 15 日 (月) ~ 2024 年 7 月 29 日 (月) <毎週 月曜日> 3 時限・講時 13 : 30 ~ 15 : 00			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験 (筆記)			%
	レポート試験 (期末)		100	%
	平常点 (出席・授業態度)			%
	その他 (小テスト・レポート)			%
別途負担費用	なし あり()円			
その他特記事項	【履修上の注意】 コロナ禍の状況により、授業の進め方を変更します。manabaの掲示板を利用して指示しますので、頻りにチェックしてください。 チェーンレクチャーであるので、すべての講義時間に参加しないと、里山学の全体を理解することができない。			
<講義概要・到達目標>				
■【サブタイトル】 里山学 地域の自然と文化				
■【講義概要】 里山は、人間が長期にわたって手を入れ、自然と多様な形で関わり、自然と共生することによって、人間同士の共存を可能にしてきた場所であった。日本の生物の多様性の一部は里山の存在によって維持されてきたということも明らかになりつつある。ところがエネルギー革命と農業革命のため里山は放置され、都市の膨張とともに開発のターゲットにされてきた。生物多様性を維持し、人間の生活を支え、日本文化の形成にも密接に関連していたと考えられる里山が失われようとしている。「里山学」では、里山の環境、動植物、歴史、里山と文化・制度との関わりなどについて、複数の教員が講義する。				
■【到達目標】 里山といわれる環境について、その歴史や現状を理解し説明することができる。里山を代表とする身近な自然環境と人間との関係について、自分自身の意見を持ち表明することができる。				
■【講義方法】 複数教員によるチェーンレクチャーであり、それぞれの教員ごとにいろいろな方法で講義する。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4 月 15 日	里山の歴史と現状		
2	4 月 22 日	里山の環境倫理		
3	4 月 29 日	「龍谷の森」での自然観察		
4	5 月 13 日	里山の社会学的考察		
5	5 月 20 日	里山保全と社会規範		
6	5 月 27 日	考古植物学から提案する新しい小麦生産		
7	6 月 3 日	里山と昆虫		
8	6 月 10 日	里山での児童・幼児教育		
9	6 月 17 日	瀬田地域の里山の歴史(林珠乃)		
10	6 月 24 日	里山とグローバル化		

11	7月1日	里山が放置され, 増える生きものと減る生きもの
12	7月8日	食と文化(川西豪志)
13	7月15日	里山環境と汚染物質
14	7月22日	花粉で探る過去の里山環境(林竜馬)
15	7月29日	佐渡のトキから里山を考える
<p><教科書・参考書></p> <p>■【テキスト】講義時間内に教員ごとに指示する。</p> <p>■【参考文献】講義時間内に教員ごとに指示する。</p> <p>丸山徳次・宮浦富保『里山学のすすめ』(昭和堂)2,310円 (ISBN:9784812207383)</p> <p>丸山徳次・宮浦富保『里山学のまなざし』(昭和堂) 2,310円 (ISBN:9784812209165)</p> <p>村澤真保呂・牛尾洋也・宮浦富保『里山学講義』(晃洋書房) 2,500円 (ISBN:9784771026339)</p>		